



冬の停電 寒さ対策はできていますか

悪天候や災害などにより停電はいつでも起こる可能性があります。特に、冬の停電は、低体温症になるリスクや、最悪の場合、死に至る危険性があります。万が一の発生に備え、寒さへの備えを確認しましょう。

問い合わせ 危機対策課（市庁舎5階、☎65・4103）

平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震では、北海道全域が停電し、私たちの生活は大きな影響を受けました。冬季の停電時にどのような対策が必要かを考え、万全の備えをしましょう。

暖房器具や防寒具で寒さから身を守る

停電が発生した場合、電気ストーブだけではなく、ガスや灯油を熱源とする暖房器具であっても、コンセントを使用する暖房器具は使えません。ポータブル灯油ストーブやカセットガスストーブなど、コンセントを使用しないものを用意しましょう。上着や帽子などの防寒具や使い捨てカイロ、防寒アルミシートなども用意するとより効果的です。（図1）

危険を感じる場合は迷わず避難

防寒対策をしていても、停電が長期間続く場合など、危険を感じる場合は、ためらわず避難しましょう。

避難先は、避難所だけではありません。普段から避難先となる場所を確認し、最も安全と考えられる避難先に避難しましょう。（図2）

図1 停電に備えて準備しておきたい装備品など

照明器具	カセットこんろなどの調理器具	モバイルバッテリーや乾電池	ポータブルストーブなどの暖房器具	車の燃料
夜間、出入口や床の段差など、周囲の状況を確認するため、懐中電灯などを準備しましょう。	停電時は、IH調理器は使えません。カセットこんろを用意しましょう。	情報収集や連絡手段として有効なスマートフォンなどの電源を準備しましょう。	電気式の給湯・暖房設備は、停電時に使えません。電池式のものを用意しましょう。	車は、テレビやラジオのほか、電源確保や暖房などに活用できます。車の燃料を日ごろから補給しておきましょう。

その他防災に関することは、防災ガイドをご覧ください

災害時の行動・注意点や日ごろからの備えなどを掲載しています。令和5年3月に市内全戸配布しており、WEBでも確認することができます。

図2 避難先の例

避難所	親戚・知人宅	宿泊施設	車中避難
事前に最寄りの避難所や避難経路を確認しましょう。	災害時に避難することを事前に相談しておきましょう。	ホテルや旅館などの宿泊施設も避難先として有効です。	プライベート空間も確保できる一方、エコノミークラス症候群などへの対策が必要です。

防災を「見」て「体験」して、災害に備えよう

インターネットで学ぼう

◆ 防災動画

冬の災害対策についての、3分30秒程度の動画です。冬の災害への備えをはじめましょう。



この他にも、さまざまな防災啓発動画を市のホームページで公開しています。ご家族や地域で防災対策の参考にしてください。

見て備える
防災動画

帯広市防災動画

◆ おびひろe-防災

防災に関する資料や動画を紹介しています。いつでも・どこでも防災について学ぶことができます。

インターネットで学ぼう
おびひろ e-防災

防災に関する動画や資料を公開。いつでも、どこでも学ぶことができます。

おびひろe-防災

防災グッズ展

家庭で備える防災用品や市の防災資機材を展示します。この機会に家庭の備えを改めて確認しましょう。

日時：1月15日(月)～19日(金)、9時～17時（初日は12時から、最終日は15時まで）

場所：市民ホール（市庁舎1階）



冬季防災訓練

避難所の開設や、実際に学校の体育館で宿泊などをする訓練を行います。また、親子向けの防災教室も実施します。冬の避難所を体験してみませんか。

日時：2月17日(土)、14時～翌8時（日帰りは17日(土)の19時まで）

場所：帯広第七中学校（大正町444番地2）

対象：市民（小学生以下は保護者同伴）

定員：抽選100人（親子向け防災教室は30人まで、宿泊は50人まで）

申し込み：1月31日(木)までに、二次元コードまたは電話で危機対策課へ。



【過去の実施内容】

